

審査基準及び標準処理期間

所属名	医療課医務・看護係
内線番号	4748

No.	項目	内容						
①	処分名	社会医療法人の認定						
②	法令名	医療法						
③	法令番号	昭和23年法律第205号						
④	根拠条項	第42条の2第1項						
⑤	処分権者	京都府知事						
⑥	法令の定め	<p>第四十二条の二 医療法人のうち、次に掲げる要件に該当するものとして、政令で定めるところにより都道府県知事の認定を受けたもの(以下「社会医療法人」という。)は、その開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務に支障のない限り、定款又は寄附行為の定めるところにより、その収益を当該社会医療法人が開設する病院、診療所又は介護老人保健施設の経営に充てることを目的として、厚生労働大臣が定める業務(以下「収益業務」という。)を行うことができる。</p> <p>一 役員のうちには、各役員について、その役員、その配偶者及び三親等以内の親族その他各役員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者が役員の総数の三分の一を超えて含まれることがないこと。</p> <p>二 社団たる医療法人の社員のうちには、各社員について、その社員、その配偶者及び三親等以内の親族その他各社員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者が社員の総数の三分の一を超えて含まれることがないこと。</p> <p>三 財団たる医療法人の評議員のうちには、各評議員について、その評議員、その配偶者及び三親等以内の親族その他各評議員と厚生労働省令で定める特殊の関係がある者が評議員の総数の三分の一を超えて含まれることがないこと。</p> <p>四 救急医療等確保事業(当該医療法人が開設する病院又は診療所の所在地の都道府県が作成する医療計画に記載されたものに限る。次条において同じ。)に係る業務を当該病院又は診療所の所在地の都道府県(次のイ又はロに掲げる医療法人にあつては、それぞれイ又はロに定める都道府県)において行っていること。</p> <p>イ 二以上の都道府県において病院又は診療所を開設する医療法人(ロに掲げる者を除く。)当該病院又は診療所の所在地の全ての都道府県</p> <p>ロ 一の都道府県において病院を開設し、かつ、当該病院の所在地の都道府県の医療計画において定める第三十条の四第二項第十二号に規定する区域に隣接した当該都道府県以外の都道府県の医療計画において定める同号に規定する区域において診療所を開設する医療法人であつて、当該病院及び当該診療所における医療の提供が一体的に行われているものとして厚生労働省令で定める基準に適合するもの当該病院の所在地の都道府県</p> <p>五 前号の業務について、次に掲げる事項に関し厚生労働大臣が定める基準に適合していること。</p> <p>イ 当該業務を行う病院又は診療所の構造設備</p> <p>ロ 当該業務を行うための体制</p> <p>ハ 当該業務の実績</p> <p>六 前各号に掲げるもののほか、公的な運営に関する厚生労働省令で定める要件に適合するものであること。</p> <p>七 定款又は寄附行為において解散時の残余財産を国、地方公共団体又は他の社会医療法人に帰属させる旨を定めていること。</p>						
⑦	審査基準	<ul style="list-style-type: none"> ●厚生労働大臣の定める社会医療法人が行うことができる収益業務(平成19年3月30日 厚生労働省告示第92号) ●医療法第四十二条の二第一項第五号に規定する厚生労働大臣が定める基準(平成20年3月26日 厚生労働省告示第119号) ●医療法人制度について(平成19年3月30日医政発第0330049号 最終改正平成28年3月25日医政発0325第3号 厚生労働省医政局長通知) ●社会医療法人の認定について(平成20年3月31日医政発第0331008号 最終改正平成28年8月30日医政発0830第3号 厚生労働省医政局長通知) 						
⑧	経由機関名							
⑨	協議機関名	京都府医療審議会						
⑩	標準処理期間	(⑪合計期間)標準処理期間を設定していない						
		<table border="1"> <tr> <td>経由期間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協議機関</td> <td></td> </tr> <tr> <td>当該処分機関</td> <td></td> </tr> </table>	経由期間		協議機関		当該処分機関	
経由期間								
協議機関								
当該処分機関								
⑫	問合せ	医療課医務・看護係(075-414-4748)						
⑬	備考	当該申請については、京都府医療審議会の承認を得る必要があります。事前に、担当まで相談願います。						